

平成21年度

柳瀬川の再生～みどりの学校ファームへ

－学校・家庭・地域・行政が連携した環境教育－

1 学校版環境 ISO の概要

上山口中学校は「狭山丘陵の雑木林」「トトロの森」「菩提樹のたんぼ」「柳瀬川の源流」など歴史と文化に生まれ恵まれた環境にある。この多くの先人たちによって守り受け継がれてきたすばらしい環境を、貴重な財産として将来へ引き継いでいきます。そして、「ものを大切にする心」で環境行動に努めていきます。

今年度は、生徒会や総合的な学習の時間の取り組みで『柳瀬川』を再生させ、ホタルやミヤコタナゴが棲む清流に戻すための活動に、地域や行政と連携し重点的に取り組んだ。その活動が、発展し道路工事で出た残土を利用した学校ファームが完成し、ダイナミックなりサイクル活動を体験し、環境を大切にする実践的な態度を育成した。

※ 活動の様子



地域活動の柳瀬川清掃ボランティアへの参加、河川浄化に利用した木炭チップによる、学校ファームの土壌改良

2 具体的な活動の紹介

【学 校】

- ・理科の授業で校地内外の植物観察
- ・片面印刷物や封筒の再利用
- ・リサイクル活動（古紙、PTキャップ等）
- ・総合的な学習で、柳瀬川を中心とした山口地区フィールドワーク 等
- ・柳瀬川浄化に使用した木炭チップを土壌改良材として、学校ファームでの活用。

【生徒会】

- ・環境委員会の古新聞アルミ缶回収
- ・ゴミの分別の習慣化
- ・緑の羽募金
- ・柳瀬川の清掃ボランティア
- ・樹木選定、除草作業 等

【PTA・後援会】

- ・子どもたちの環境づくり
- ・柳瀬川の清掃ボランティア
- ・樹木選定作業

3 成果及び生徒・保護者・地域の声等

- 水道使用量 29%減 電気使用量 18%減（対14年度比）
- 樹木選定ボランティア参加者 100名
- 柳瀬川清掃参加者 延べ 266名
- 間伐材によるバイオマス発電に利用した木炭チップによる河川浄化。
- 道路工事で排出した残土による、みどりの学校ファーム完成。木炭チップによる土壌改良。
- 環境意識の高揚
 - ・間伐材を利用して川をきれいにしたり畑を良くするのは環境にいいと思う。
 - ・川をきれいにするのは楽しい、思ったより汚れていたの、みんなできれいにしたい。
 - ・僕たちが環境を支えていることを実感した。
 - ・収穫物の調理が「食育」につながる。